

## 事業計画書

補助対象事業の区分 (該当する事業の口に✓を入れてください(複数選択可))

- ア 省エネルギー機器の導入
- イ ITツールの導入及び設備のIoT化
- ウ 非対面型ビジネスモデルへの転換
- エ 作業効率の向上を目的とした新システムの導入
- オ 作業効率の大幅な向上が見込める非効率機器の更新
- カ その他固定費の削減に資する取組として必要と認めるもの
- キ 事業用車両(緑(黒)ナンバーに限る。)に取り付けるためのエコタイヤ等の導入 (※)

(※)運輸事業者(一般貨物自動車運送事業及び特定貨物自動車運送事業の営業許可を受けている者)は、広島県「運輸事業者に対するエコタイヤ等導入支援事業支援金」の補助を受けたとみなします。

次の各項目について、内容を記載してください。(※行については、必要に応じて拡大して記載してください。)

<現状>

〇〇業を営んでいるが、新型コロナウイルス感染拡大(原油価格の高騰の影響)により、△△の影響が出ている。

<課題>

- ・対面での営業や職員の勤務形態が制約される中、商談や資料作成をより効率化する必要がある。
- ・〇〇業を行うにあたって、必要となる□□の業務について、外注している(する予定である)が、固定費がかかっている(かかる見込みである)。
- ・〇〇業を行うにあたって必要となる□□作業に使用する機器管理について、手書きの管理票で行っており、機器の状況把握などに時間がかかっている。
- ・〇〇業を行うにあたって、固定費の主要部分を占める機器として、照明や、□□機器が旧型なため、使用にあたって電気代がかかるため、省エネタイプの機器に更新することで固定費を削減したい。

<取組>

- ・××ソフトを導入することで、顧客に対し速やかに3D図面化するなどした提案が可能になるほか、社員の在宅勤務が可能になる。
- ・□□の業務について、××機器を購入し、自社で行うことにより固定費の削減を図る。
- ・機器の管理のためIoTを導入し、機器の更新・点検時期確認の自動化や管理情報の共有化により、従業員の作業の効率化を図る。
- ・固定費の主要部分を占める機器として、照明をLED化するとともに、□□機器を省エネ型のものに更新することで、ランニングコストと照明交換費用等の固定費の削減を図る。

<効率化等の効果> 数値等を使用し、具体的に記入してください。

- ・提案資料作成時間 ●●時間 / 人・日から●●時間 / 人・日に短縮 ▲▲時間 × ■■人 = 社内合計◎◎時間の作業時間短縮
- ・外注費(見込) ●●円 × ▲▲回 = ■■円 / 年から、機器購入費●●円に削減
- ・管理作業時間 ●●時間 / 人・日から●●時間 / 人・日に短縮 ▲▲時間 × ■■人 = 社内合計◎◎時間の作業時間短縮
- ・年間電気代●●円が▲▲円になり、■■円 / 年の削減  
取替費用◎◎円 ÷ ■■円 / 年 = ××年で回収